



紅葉の妙高高原いもり池と苗名の滝から アパリゾート上越妙高の幸福を呼ぶ双龍のイルミなどバスツアー

会長 中村
企画・案内: 本部
会長・中村 副会長・杉田
幹事・池田 役員

毎年恒例の紅葉バスツアーはくらぶ13周年記念行事として一泊バスツアーを開催します。妙高高原一帯はシラカバ林が続く高原植物の宝庫であり、ハイキングコースも整備された一大リゾート地です。いもり池の周囲にはおよそ500mの遊歩道があり、秋色に染まった妙高山の景色を眺めながら苗名の滝へと散策します。落差55mで日本の滝100選に選ばれている苗名の滝は紅葉と水しぶきを上げて落ちる滝は迫力満点です。そして、アパリゾート上越妙高ホテルは天然温泉の露天風呂と大浴場で心までリラックスできます。夕食後に世界最大の光の地上絵、幸福を呼ぶ光の双龍イルミネーションなど楽しみましょう。翌日は野尻湖を遊覧船で紅葉に染まる湖岸など楽しみ、一茶記念館を見学して帰路に着きます。

◆開催日	平成29年 10月19日(木)~10月20日(金) 一泊	観光バス利用なので雨天でも決行
◆集合場所	小田急、伊勢原駅南口・イトヨーカドー前	07:50(集合) <08:00(出発)>
◆宿泊先	アパリゾート上越妙高 (新潟県妙高市桶海1090 ☎0255(82)4111)	
◆ツアー代	① 27,300円<1室1人利用> ② 25,300円<1室2人と和室利用> (メール無い方は100円を集合) ・バス代・ホテル宿泊代(夕食+朝食)・翌日昼食代・遊覧船、一茶記念館・傷害保険・参加費など含む	
◆持ち物	保険証・会員証・飲み物・タオル 等	注) 当日の昼食は自弁とします・翌日の昼食はお弁当をお渡します
1日	伊勢原===厚木IC===狭山PA(9:05~9:20)===鶴ヶ島JCT===藤岡JCT===横川SA(10:30~10:45)===黒姫野尻湖PA(12:05~12:20) 08:00 <圏央道> (休憩) <県央道> <関越道> <上信越道> (休憩) <上信越道> (休憩) ===妙高高原IC===妙高高原ビジネスセンター・いもり池.....苗名の滝===アパリゾート上越妙高.....ホテル内レストラン.....イルミネーション <上信越道> 着 12:30 12:40~13:30(散策) 13:45~15:30(散策) 着 16:10 17:30~18:40(夕食) 19:00~22:00 消灯(鑑賞) アパリゾート上越妙高=====野尻湖(遊覧船&湖畔散策)=====一茶記念館=====信濃町IC=====東部湯の丸SA(13:50~14:05)	
2日	発 08:30 9:20~11:20 11:30~12:50(昼食・散策) <上信越道> (休憩) =====藤岡JCT=====上里SA(15:10~15:25)=====鶴ヶ島JCT===狭山PA(16:25)===厚木IC===伊勢原 <上信越道> <関越道> (休憩) <関越道>> <圏央道> (休憩) <圏央道> 17:30 頃解散	



■ いもり池

妙高高原・池の平温泉にある「いもり池」は、実際にイモリが多く生息していたことからこの名前がつけられた。池越しに望む妙高山はまさに絶景で、イタヤカエデやシラカバの黄色を基調にヤマモミジの赤とのコントラストが美しい。池の周囲にはバリアフリーの遊歩道が整備され、1周20分ほどで回ることができます。



いもり池

■ 苗名の滝

落差55mで日本の滝100選に選ばれている滝。豪快に音をたてて流れ落ちる様子から別名「地震滝」とも呼ばれている。鮮やかな紅葉に染まる秋は絶景だ。滝までは遊歩道も整備されており、駐車場から徒歩15分ほど歩きます。



滝つぼ

散策道のつり橋



苗名の滝

■ 野尻湖

野尻湖は黒姫山の噴火による溶岩流でせき止められてできた湖です。秋は紅葉と自然あふれる環境にあり四季を通じて多くの観光客が訪れます。野尻湖は、ナウマン象やオツノシカの化石、旧石器が発掘されていることで有名で、本来は「信濃尻(しののじり)湖」であったものが省略され「野尻湖」になったという説もあります。当日は、湖畔散策と遊覧船に乗り、弁天島散策と宇賀神社を眺めて見ましょう。



野尻湖

湖畔、ナウマン象

弁天島

■ アパリゾート上越妙高イルミネーション

日本百名山の1つ妙高山が一望できる「アパリゾート上越妙高」は大自然に囲まれています。レストラン・大浴場など施設は十分完備されています。
 ☆天然温泉の大浴場と露天風呂でゆったりできます。
 ☆夕食は、和洋中華バイキング、朝もバイキングとなります
 ☆夜は広大な敷地に描かれた「世界最大の光の地上絵」を楽しめます。
 人気上昇中のイルミネーションであり、「LEDライトで作った最大イメージ」としてギネス世界記録に認定されて一躍脚光を浴び、今年4年目を迎えてさらに進化！新演出のスーパーオーロラショーが今年の目玉です。



ホテル・全景

イルミネーション

■ 一茶記念館

長野県北部、信濃町柏原に生まれた俳人小林一茶は晩年ふるさとで暮らしました。一茶終焉の土蔵が国史跡に指定されたのを記念して、1960年、一茶の墓のある小丸山に開館しました。一茶の生涯と文学・一茶のふるさと・一茶顕彰などを展示しています。翌日の昼食はこちらの会議室を利用します。



記念館・全景

展示室

旧宅庭園

